

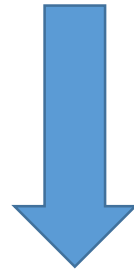
# 浜田養護学校の取組

## 研究主題

「地域を知り、  
地域と共に学び合い、  
高め合う取組」

# 主題設定の背景

- 本校と地域との関わり
- 学習指導要領
  - 「社会に開かれた教育課程の実現」
  - \* 学校と地域との連携・協働
- しまね特別支援教育魅力化ビジョン



☆**地域と学校 双方向の関係づくり**  
☆**児童生徒の主体的な社会参加**

# 研究の目的

児童生徒が課題意識をもち、  
自ら地域に関わりながら  
豊かに生きる力を育むための  
授業づくりや寄宿舎における地域活動の  
充実を図る。

# 研究仮説

児童生徒の生活年齢や発達段階に応じたねらいを明確にし、  
児童生徒が地域の魅力を感じたり、地域の課題に気づいたりするしかけを行うことで、  
児童生徒の地域に対する思いや主体的な姿を引き出し、地域の中で豊かに生きる力を育むことができるであろう。

# 研究計画【2か年計画】

1年次（令和3年度）

- ①「地域の中で豊かに生きる力」の共通理解
- ②地域資源の有効活用や地域のニーズに応える取組の検討・計画・実施・評価する。
- ③地域と関わる学習活動取組表の作成

# 令和3年度の取組

## 成果

- ◎主体的に地域の人との活動に取り組む姿
- ◎児童生徒の達成感や自己肯定感の高まり
- ◎地域に関する知識や経験の広がり など

## 課題

- ☆学校と地域との双方向の取組の難しさ
- ☆学校全体の地域との学習活動を段階的・発展的な取組にしていくこと

# 研究計画【2か年計画】

2年次（令和4年度）

① 1年目の取組を深める。

E S D～持続可能な発展のための教育～の理解と実践

②取組を通じて地域とのつながりをさらに深め、  
継続的な活動を検討する。

# 浜田養護学校 グランドデザイン

教師中心の教える教育から児童生徒中心の学ぶ教育へ  
＝児童生徒の主体的な学びを支援する＝

使 命（スクール・ミッション：存在意義、社会的役割）

- ・子どもたちを自立と社会参加に導く 〈働く力・生活する力の育成〉
- ・地域を知り、地域の人たちとできることを一緒に考え、行動し地域に貢献する児童生徒を育てる 〈地域と協働・地域貢献〉
- ・障がいについての正しい理解を促し、子どもたちが地域で安心して生活できる環境を構築する 〈障がいの理解啓発活動〉
- ・地域の支援が必要な子どもたちが安心して学べるためのサポートをする 〈センター的機能〉

校 訓 明るく（健康・明朗性） なかよく（協調・社会性） かいっぱい（自立・自主性）



教育目標 一人一人の自立と主体的な社会参加を目指し 生きる力や豊かな人間性を育む



# 学部別 到達目標

達成力

協働力

貢献力

小学部

地域や地域の人々と関わる

中学部

地域の中の自分の役割を学ぶ  
ボランティア等地域で活動

高等部

地域の課題を見つけながら活動  
学んだことを地域の中に生かす

より具体的に、つけたい力・  
目指していく姿を考える

# 地域と関わる授業づくり

## ESD～持続可能な発展のための教育～の理解と実践



### みんなが住みやすい町にしよう

(人権、福祉、消費、防災、気候変動、健康、平和、労働、貧富格差等)

### 自然を守ろう

(環境、資源、エネルギー等)

### 伝統文化を受け継ごう

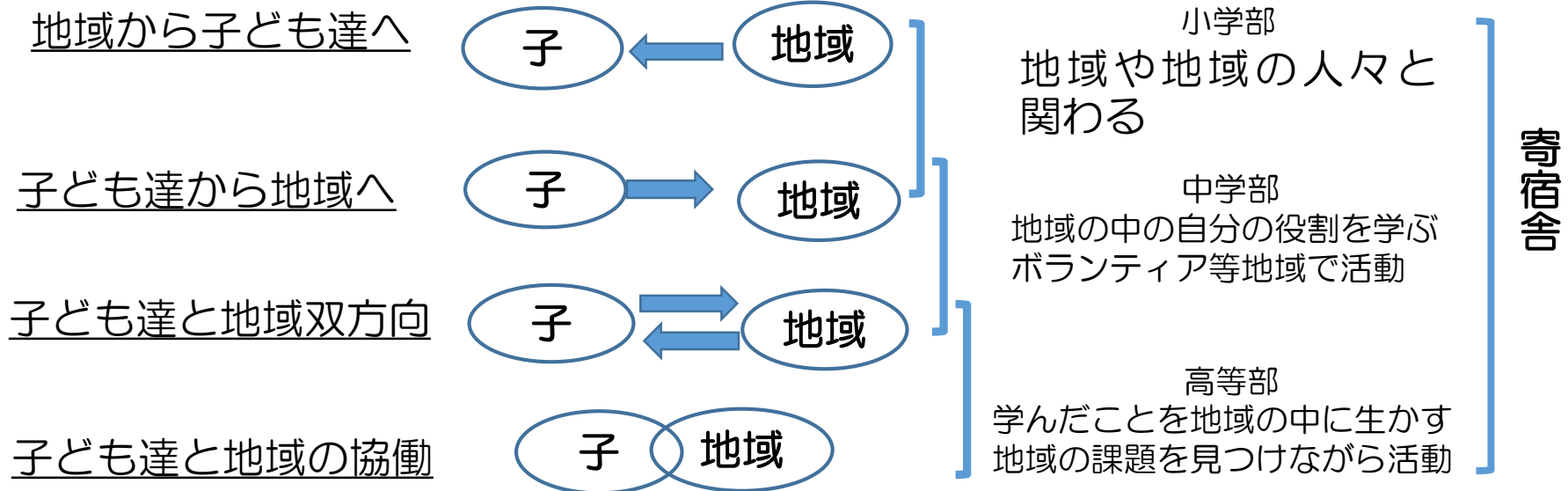
(石見神楽〈郷土芸能〉、郷土料理、方言、茶道華道、石州瓦、石州和紙等)



# 地域との連携・協働

地域との連携・協働での最高目標：はまようの力で、地域に変化と活力をもたらす

## 学部に応じた4つの交流の仕方



# 地域との連携・協働

地域との連携強化事業（令和4年度）

- 地域連携コーディネーター
- 国府まちづくりセンターとの連携  
地域学校連携協働活動推進委員

**取組を振り返って**

より具体的に、つきたい力・  
目指していく姿を考える

## 本校で「育てたい資質・能力」

知力

ふるまい

達成力

協働力

貢献力

### 小学部

地域に関心を持ち、目標に向かって活動に取り組んだり、自分の役割を果たしたりする。

### 中学部

地域のためにできることを考え、気持ちや考えを伝え合いながら、友だちや地域の人と協力して取り組む。

### 高等部

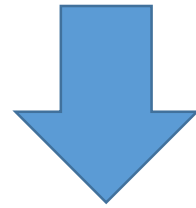
学校や地域の一員として、地域のニーズのために何ができるかを考え自ら実践する。

**各学部 到達目標の達成に向けた実践を展開**

# 地域の方の生の声を聞く 地域の方と触れ合う

地

○児童生徒が  
直接 触れ会う・聞く・関わる体験から



地域（人・物・こと）に対しての思いが育まれる  
またやりたい・かかわりたい！  
自分たちにできることは？  
こんなことをやってみよう！  
地域を大切に思う気持ち

地域の課題を自分事としてとらえるしかけ

# 地域連携コーディネーターの存在

ネットワークの広さ  
地域の方の生の声を届けていただく  
地域のニーズを知ることができた

学校と地域の橋渡しとして  
授業づくりを支えていただいた  
⇒取組の充実・前進につながった



○児童生徒の興味関心に応じた題材  
活動内容の設定

○ICTの活用

\* 現在の児童生徒の興味関心に合わせたものを  
授業に取り入れること

⇒ 地域に関心を持つきっかけ  
活動に対する意欲の高まり  
児童生徒の主体的な姿

\* 実態に応じた表現方法の広がり

⇒ アプリの活用  
動画の編集

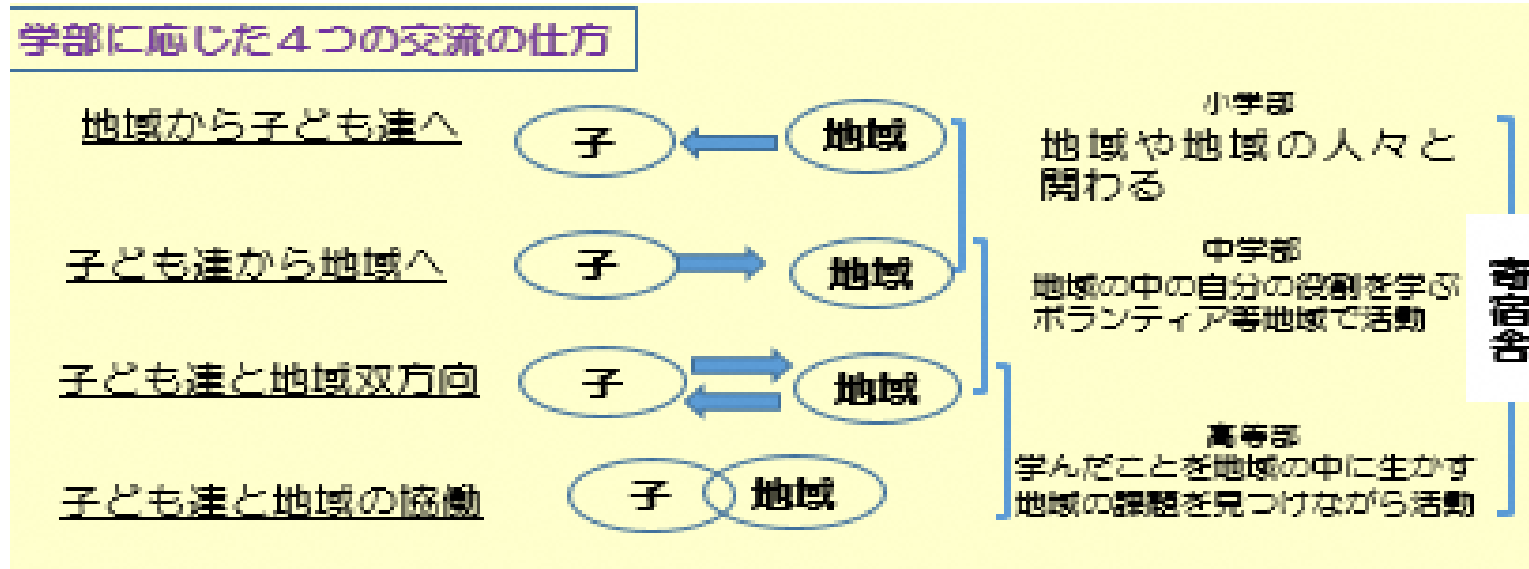
## ○「繰り返す」ことで意識が高まる

- 1学期・2学期の2回の取組において  
海岸清掃や海岸での素材集めを経験した4年生児童は  
読書週間の際、図書室で環境問題や廃材を用いた作品  
ついでの話の聞き、  
「知ってる!」「自分たちもやった」「おもしろい」

経験したことで、興味関心を持って話を聞く姿が  
あった。

活動と活動が児童生徒の中でつながった。  
学習の価値や、やったことの意味がわかる。

# 学部に応じた交流の仕方



継続して学部に応じた交流の仕方を展開しながら  
地域との学習活動を進めていく中で  
地域の人が 「ゲスト・特別な存在」 から  
なじみのある安心して一緒に活動できる関係へ

## 取り組みの成果

○昨年度以上に実践の広がりがあった

◎活動の充実

- ・生活年齢や実態に合った幅広い活動
- ・ICT の活用
- ・地域の多くの人と広くつながることができた
- ・調べ学習・話し合い活動が活性化
- ・地域の方との絆が深まった
- ・地域生活に活かせる活動の展開

◎達成力・協働力・貢献力の向上につながった

# 取り組みの成果

- ◎児童生徒の自己有用感 達成感がもてた
  - ・地域の方からの生の言葉かけで自己有用感アップ
  - ・自分たちがやった、できた！という実感

→意欲の向上

「地域のためになにかやってみよう」という  
気持ちの原動力になる

# 地域との学び合い、高め合いになったか？ 地域にとっては？

- ・地域の方の本校に対しての理解が深まった。
- ～児童生徒の実態や学習の様子
- ・地域のよさを様々な形で発信をすることができた。
  - ・地域のニーズに応えた取り組みを実施できた。

(課題)

- ・ソーシャルメディアを利用した情報発信の取組については、その評価が  
図りにくかった。
- 
- ・地域の方との学習の目的やねらいの共有について十分にしていける必要があっ  
た
  - ・地域と学びあう・高めあうために今後も持続可能な取り組みにしていける工夫  
が必要

## 課題

### 主体的・対話的で「深い学び」の実現について

- ・ 知障研の学習指導案づくり  
単元の主題に児童生徒が向かうための支援  
学習の場面で生徒が思考を深めるための手立て  
(発問の仕方等の工夫) を検討した

全体的に今年度は 何にどのように取り組むか、に目が向いていて、「思考を深める」「何をどのように学ぶか」といった学びを深めるところは難しかった。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指していきたい

# グランドデザインを踏まえた 持続可能な取り組みにしていくために①

## 地域連携協働学習年間計画 ～ESDを通して5つの資質能力を育てる～

○この年間計画を用いて、確実に小・中・高  
の学びの積み積み上げる



## ○より児童生徒の実態に合わせた取組の工夫

例えば

- \* 同じ視点で題材を変えて繰り返し取り組む

- \* また、学習集団の組み方を工夫する

例えば 異年齢のグループ

- \* 話し合い・調べ学習・体験活動

→生徒の「強み」を活かす活動

より力を発揮できる活動を検討する

- \* 関わる相手

→地域のいろいろな年齢層や立場の人と

一緒に学んだり、活動する。

## グランドデザインを踏まえた 持続可能な取り組みにしていくために②

○地域の方との学習の目的や目標の共有

- ・互いに無理のない学習活動
- ・打ち合わせ等での相互理解、  
地域の方の願いや意見のすりあわせ

○児童生徒の意識

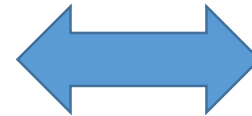
- ・なぜ、何のために？目的がわかる
- ・自己有用感を持てる活動にする  
「自分たちがやった！」
- ・「またやりたい」と思える活動

# ESDについての理解を深め 引き続き実践する

## ○ESD

ESDについて 研修会において学ぶ中で  
日々の実践を見直し、日々の実践と重なっていることを実感  
することができた

ESDにおいて育てたい力  
重視する態度  
7つの視点



グランドデザイ  
ン・育てたい資  
質能力